

活動も抑制したことにより、すべての利益項目において業績予想の上限を上回って着地いたしました。

2. 通期個別業績予想との差異について

(1) 2022年12月期通期個別業績予想との差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,130 ～7,390	△2,240 ～△2,080	△2,228 ～△2,068	△2,307 ～△2,147	△21円16銭 ～△19円64銭
今回の実績値 (B)	7,635	△1,461	△1,446	△1,779	△15円88銭
増減額 (B - A)	245 ～505	618 ～778	621 ～781	367 ～527	—
増減率 (%)	3.3% ～7.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	8,420	△879	△860	△1,147	△10円37銭

(2) 差異の発生理由

当社の2022年12月期通期連結会計年度の実績値については、いずれも個別業績予想の上限を上回りました。その結果、営業損失及び経常損失の下限值と実績値の間に乖離があり、軽微基準(予想値と実績値との差異が0.7倍超1.3倍未満)に該当しないことから、開示を行っております。

売上高は、リオープニングに伴い悪化していた事業環境が回復基調に転じたこと等により、流通総額が計画を上回ったことにより、業績予想の上限を上回りました。さらに、プロモーションが効率化されたことによりプロモーション費の投下額が計画を下回り、採用活動も抑制したことにより、すべての利益項目において業績予想の上限を上回って着地いたしました。

以上